

「ありがとう」

森町立砂原中学校3年 木村 栄就



「いやだ…もう…死にたい……」
 「いじめ」。それは「嫉妬」や「八つ当たり」
 の感情から起こってしまう行為。私は積
 極的に活動し、いじめをなくすための活
 動に参加してきました。今回はこの「い
 じめ」といって、日本・世界全体を俯瞰
 的に考えています。皆さんは、いじめの
 定義を知っていますか？
 文部科学省のホームページには「当該
 児童生徒が、一定の人間関係のある者
 から、心理的、精神的な苦痛を感じて
 いるもの。」と定義されています。個
 人としては、「悪口や暴力を振るわれ
 て心が苦しい状態」とも言えます。こ
 のような、いじめを受けて「自殺」
 をしてしまう児童生徒が後を絶ちませ
 ん。
 では、どれほどの若者が、自ら命を絶
 っているのでしょうか。
 私たちは、まず、いじめの実態を知る
 必要があります。
 私が調べた京都新聞の記事には「201
 1年での認知」できているいじめの件
 数は70,231人でしたが、2021
 年には615,351人と倍以上に増
 えています。さらに児童生徒の自殺者
 数も202人から368人に増えてい
 ます。このうち「いじめ」による自
 殺者数は約4割で、ほぼ横ばいです。
 文部科学省や厚生労働省のデータも同
 様でした。私は横ばいという状況に危
 機感を覚えました。それは、悪い状
 況が変化せず放置されていると考
 えたからです。さらに割合は横ばい
 でも、実際の自殺者数は増えているの
 です。
 次に世界的な状況を見てみましょう。
 関西学院大学の桂田教授の論文によ
 ると、「世界の学齢期の人口の少なく
 とも10%以上にいじめが認知され
 ている」そうです。これは世界で1億
 人以上がいじめを受けていることを
 意味します。しかも、これらの件数は
 あくまで「認知されている」件数に
 すぎません。「もし誰かに言っ
 て、いじめてくる奴らにバレたら…」
 という恐怖心から、人には言えない
 ことも多いはず。これは、単なる憶測
 ではなく実際にいじめにあった自分
 の経験から間違いなく断言できます！
 ですから、いじめを受けている児童
 生徒はまだまだたくさんいると私は確
 信しています。そして、「いじめによ
 る自殺」は「間接的な殺人」だと考
 えています。
 ではこの現実、我々は、どう向き合
 うべきなのか。私は世界で最もいじ
 めの少ないスウェーデンのいじめ対
 策にカギがあると考えました。
 スウェーデンでは、「いじめられっ子
 を裏切

ない」ということを最重要視し、いじ
 め対応の根本においています。ルー
 ルや手順などよりも「いじめられっ
 子を裏切らない」。この方がはる
 かに重要なのです！
 また、いじめをやめさせることが
 目的ではなく、関わった人間を自分
 や他人を尊重できる一人の人間と
 して成長させることを目的として
 います。
 逆に日本は「仲直り」や「反省」
 などの「形」ばかりにこだわってい
 ないでしょうか。
 最後に、私の体験から意見を述べ
 させていただきます。
 私は小学二年生から六年生までの
 5年間、心が辛く晴れない日々を過
 ぎしてきました。日に日にいじめは
 悪化し、楽しいはずの学校生活が辛
 いばかりの日々に思えました。「いや
 だ…もう…死にたい……」と思った
 日も少なくありませんでした。そ
 んな日々の中、とある授業での「落
 語」との出会。それが人生の転機
 でした。落語は一人でも何役も演
 じる、つまり多面的に物事を見な
 ければいけないものです。私は、こ
 の落語の持つ魅力に心を奪われまし
 た。そして、気づくと、私自身も日
 常の中で多面的に物事を見られる
 ようになっていったのです。そうし
 たらんと、「私の言葉や行動で笑顔
 になってくれる人」が見えてきまし
 た。そんな人たちが救われて、気づ
 けば、いつもの学校生活が楽しくな
 っていました。
 私はいじめに悩む人に伝えたい。「諦
 めることなんて何一つない」あなた
 の人生は泥舟なんかではありません！
 人生であなただけを必要としてく
 れる人は必ずいます。そんな人た
 ちとの明るく幸せなあなたの人生
 のために…、生きてください！
 けれども、僕よりも辛い状況の人
 には綺麗事に聞こえるかもしれませ
 ん。だからこそ、日本も形だけの
 「仲直り」「反省」などはやめま
 しょう。
 スウェーデンのようにいじめという
 形に囚われず、みんなが一人ひと
 りが他人を尊重できる人間になる
 ための取り組みを続けることで、い
 じめが起りにくい、起こったとし
 ては誰かが必ず助けてくれる学校
 や社会を築いてほしいのです。
 そして、そのためにも、「いじめら
 れている人を裏切らない」というこ
 とを貫き通してほしいのです。
 そうしたら、いじめを受けて苦し
 みの底にいる人も、一つのきっかけ
 から、いつの間にか、内向きの「死
 にたい」という気持ちから、自分
 を必要としてくれる人への「あり
 ありがとう」という気持ちに変化
 していきけるのではないでしょ
 うか。